

せせらぎ **地域密着型サービス自己評価票**（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	1	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		1 外部 評価 1	<b>地域密着型サービスとしての理念【外部評価】</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設当初からの理念であるが、当初の職員で協議されものである。運営会議を通して、理念に基づいた地域との交流に努めている。	0	
		2 外部 評価 2	<b>理念の共有と日々の取り組み【外部評価】</b> 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットの出入り口及びスタッフルームに理念が提示されており、自然と目に入る工夫をしている。毎日の申し送り、月1回もカンファレンスにおいて、理念に基づいたケアが実践できたか検証している。	0	
		3	<b>家族や地域への理念の浸透</b> 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族には面会時やお便り等を通して理解を求めており、又、地域の方々にはボランティアに来訪の折や、見学の際説明している。	0	
			2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	0	
		2	4 外部 評価 3	<b>隣近所とのつきあい</b> 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	気候が良くなると、近所への散歩を楽しんでいる。隣近所では日常の挨拶を心がけ、近所の庭には樹木やお花も多く、野菜作りもされているため、見学させていただく際に会話するよう心がけている。	0
		5 外部 評価 3	<b>地域とのつきあい【外部評価・重点】</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の小学校・大学の文化祭・地区の盆踊りに参加したり、見学に行ったりしている。地区のボランティアによる演芸は回数も多く、毎月1回の清掃活動にも参加している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2	6	<b>事業所の力を活かした地域貢献</b> 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	人材育成の観点から、介護実習生の受け入れを行い、実習感想等もスタッフの反省材料として活用している。また、地域敬老会へさんかするなど地域高齢者との交流に努めている。	0	
	3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)		自己評価5項目・外部評価4項目	1	
	3	7	<b>評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】</b> 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果については、各スタッフへ報告を徹底し、実現可能な是正項目から実施している。	0	
		8	<b>運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている		0	
		9	<b>市町村との連携【外部評価・重点】</b> 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	生保受給の入居者について、担当のCWにケアの方法などの相談をし、市との連携を図り、入居者サービス向上に努めている。	0	
		10	<b>権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】</b> 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	今年度も施設内勉強会で取り上げ学習したが、当ユニットでの活用はない。	1	必要な時は、支援できる体制作りに努めたい。
		11	<b>虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会でも取り上げ学習しているが、ユニット内ミーティングにおいても、ケアの在り方について意思の統一を図り、虐待が看過されないように注意をはらっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
	4		理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	0		
理念に基づく運営	4	理念を 実践する ための 体制	12	<b>契約に関する説明と納得</b> 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際八、重要事項の説明は十分行っている。特にグループホームでの医療行為の範囲の限界と、医療機関との連携体制については同意を得ている。	0	
			13	<b>運営に関する利用者意見の反映</b> 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者と共に生活していると捉えているのが、きちんと一線は引いて意見や不満に思っている事を話して貰える様働き掛けている。	0	
			14	<b>家族等への報告【外部評価・重点】</b> 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的にお便りや面会時に、利用者の現在の生活・健康状態や職員の異動等を報告している。金銭の関しては出納長コピーと領収書を定期的に渡している。	0	
			15	<b>運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】</b> 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の方が些細な事でも言いやすいよう、面会時には声掛けしている。又、利用者からご家族に対する訴えがなかったかなど確認し、不満等がある場合はスタッフ間で改善に向け努力している。	0	
			16	<b>運営に関する職員意見の反映</b> 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎日の申し送りや日常のコミュニケーションの中で意見や提案などを聴取し、実践可能な案件については、運営会議に諮り検討している。	0	
			17	<b>柔軟な対応に向けた勤務調整</b> 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	全員きちんとシフトが組まれており、利用者の状態によっては時間外なども快く引き受けてもらっている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4 る 理 念 た め を の 実 体 践 制 す	18 外 部 評 価 10	<b>職員の異動等による影響への配慮【外部評価】</b> 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	8月に異動があり、利用者へのダメージを心配したが、ユニット間の移動研修や、日頃より入居者への声掛けを多くしていた為、大きなダメージもなかった。	0	
		5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)	自己評価6項目・外部評価4項目	0	
	5 人 材 の 育 成 と 支 援	19 外 部 評 価 11	<b>人権の尊重【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の採用に関しては、年齢や性別などによる制限は何ら行われていない。また、上の資格を目指す職員に対しては休みの調整など支援体制がある。	0	
		20 外 部 評 価 12	<b>人権教育・啓発活動【外部評価・追加】</b> 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	毎月行われる施設内勉強会で、入居者の尊厳と題し、特に言葉使いを徹底した。	0	
		21 外 部 評 価 13	<b>職員を育てる取り組み【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内の通達や、回覧で回ってきており、勤務体制を考えながら研修に参加し、参加後は内部研修による職員への周知の体制をしている。	0	
		22 外 部 評 価 14	<b>同業者との交流を通じた向上【外部評価】</b> 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会などで他施設の方と話したりする機会はあるが、同業とのネットワーク作りはない。勉強会には少数だが同業者の方が参加される。	0	
		23	<b>職員のストレス軽減に向けた取り組み</b> 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	勉強会の後、軽食を囲み慰労会を開いていただいたり、年1回の慰安旅行に参加している。また、管理者を中心にスタッフのストレス軽減を図っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人 支材 援の 育成	24	<b>向上心を持って働き続けるための取り組み</b> 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職能評価として、実際に評価したが反映されているのか疑問である。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
		25	<b>初期に築く本人との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人からの意見などの聴取は入居されてからの方が多く、それ以前はご家族やケアマネジャーからの方が多い。	0	
		26	<b>初期に築く家族との信頼関係</b> 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族の要望や意見をよく聞き相談の形をとっている。	0	
		27	<b>初期対応の見極めと支援</b> 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護支援事業所も、併設されているので、ケアマネジャーにも相談可能で、柔軟対応に心がけ、必要とされる支援サービスに対応している。	0	
		28 外部 評価 15	<b>馴染みながらのサービス利用【外部評価】</b> 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	まずご家族及び本人が場の環境に馴染めるよう、体験や見学をしてもらい相談しながら対応している。	0	
	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	0		
係り2 継続これ 新たな関 係の支 援の関 関く	29 外部 評価 16	<b>本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の悩みや思いやりを知り、共に支え合う関係作りに努めている。午前中の茶話会では、スタッフと共にしゃべりに花が咲き、昔の事・土地柄の事などたくさん教えてもらっている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	<b>本人を共に支えあう家族との関係</b> 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居者の毎日の生活・お話しされた事を面会時などにお伝えしご家族との情報交換をしながら、楽しい生活をさせてあげたいと心がけている。	0	
		31	<b>本人と家族のよりよい関係に向けた支援</b> これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	面会時、入居者の方の顔つきが明るくなる。お便り等でも、普段家族のお話をされる事、喜ばれる事など報告している。	0	
		32	<b>馴染みの人や場との関係継続の支援</b> 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居される前に行かれていた美容室に引き続き通っておられる。また、毎日のように通っておられた喫茶店のお話を聞き、皆さんと一緒に訪ねた事もある。	0	時々お話の話題になることもあり、お誘いはするが、体力の低下などの理由で以降訪ねる事はない、話題にする事で喜ばれている。
		33	<b>利用者同士の関係の支援</b> 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ホールでの席を関係把握して座っていただいている。また、皆と一緒に活動などして過ごす時は、一つのテーブルに座っていただいている。	0	
		34	<b>関係を断ち切らない取り組み</b> サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	この一年間で契約が終了された方は居ないが、以前帰られた方は、デイサービスに通っておられるので、声掛けなどしている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目
1 の 一 人 の 把 握 は 一 人 一 人 と り	1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)			自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
	35 外部 評価 17	<b>思いや意向の把握【外部評価】</b> 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している		日々の係わりの中で話をすることにより、全スタッフが把握するよう努めているので、意見を出し合い話し合っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	<b>これまでの暮らしの把握</b> 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報から得るが、入居されてから徐々にお話を重ねスタッフ全員で共有し、更に深く把握するよう努めている。	0	
		37	<b>暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者一人一人の事を記した申し送りノートと、言葉による申し送りで把握するよう努めている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	0		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価 18	<b>チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者と職員間の会話は多く、その中で感じた事を、申し送りしたり、毎月のカンファレンスで取り上げている。また、ご家族の方には必ずお話を伺うようにし、介護計画の作成に役立てている。	0	
		39 外部評価 19	<b>現状に即した介護計画の見直し【外部評価】</b> 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎のケアプランの立て直しと、毎月の見直しを行い、個々の入居者の状態の変化に合わせて、期間前・期間中を問わず検討見直しをし、ケアプラン表に朱記で分かり易く表示している。	0	
		40	<b>個別の記録と実践への反映</b> 日々様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日、申し送りノートに個々の入居者の情報を記録し、全スタッフが勤務前に目を通すようにしており、良いアイデアは即実践に移して、その検証結果も介護計画の見直しに役立てている。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価 1 項目・外部評価 1 項目	1		
	し3 た多機能な支援か	41 外部評価 20	<b>事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】</b> 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関での入院治療が望ましい入居者等に対し、本人及びご家族の要望を反映させた介護プランに基づき、医療機関との連携を密にしながら、快適なグループホームでの生活を送ってもらっている。	1	ご家族との連絡を密にしながら、状態に応じて、本人やご家族の要望を取り入れられるよう支援したい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	4	本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	3	
			42	<b>地域資源との協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の民生委員のボランティア参加、福岡医療短大の介護実習生や、近隣中学校の体験学習を受け入れている。また、施設周辺の交番・消防署に対し、緊急時の協力体制や防火訓練などの協力を得ている。	0	
			43	<b>他のサービスの活用支援</b> 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	おむつ助成金制度の説明をし、現在、サービスを受けられてる方がおられる。	1	制度の適用が可能な入居者に対し、制度の主旨を説明し、必要であれば支援したい。
			44	<b>地域包括支援センターとの協働</b> 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今のところ必要としている入居者はいない。	0	
			45	<b>かかりつけ医の受診支援【外部評価】</b> 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療機関の整形外科・内科の他、外科・眼科・皮膚科など、入居者や家族の希望に応じた受診ができるよう支援を行っている。	0	
			46	<b>認知症の専門医等の受診支援</b> 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	診断・治療について専門医に相談したケースがある。(現在集団生活に馴染まない入居者はいない)	1	認知の症状によっては、対応の難しさもあるので、専門医に対策方法など相談して行きたい。
			47	<b>看護職との協働</b> 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	各ユニットに看護職は位置されており、利用者の健康状態を常に把握して、勤務以外の時も常に連絡が取れるようにして、状態によっては出勤している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	<b>早期退院に向けた医療機関との協働</b> 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入退院された方が2名おられるが、医療関係の方とは情報交換しながら連携を図っている。	0	
		49 外部評価 22	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者A氏；腫瘍で予後不良 医師から上記診断を受けた家族から、「余生を慣れ親しんだ当ユニットで生活させたい」との強い希望もあり、かかりつけ医と話し合いながら、今後の方針を共有している。	0	
		50	<b>重度化や終末期に向けたチームでの支援</b> 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度や終末期の場合、医療的な対応は出来ない事が多いが、医療機関と連携を図り支援に取り組んでいる。	0	
		51	<b>住み替え時の協働によるダメージの防止</b> 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	この一年間で移り住まれた方は居ない。	1	担当CW・ケア関係者に十分な情報の提供を行いたい。
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)			自己評価38項目・外部評価11項目	3
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	2	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)		自己評価3項目・外部評価2項目	0	
		52 外部評価 23	<b>プライバシーの確保の徹底【外部評価】</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	難聴の方が多く大きな声で声で話すことになるので、声掛けには気をつけている。記録等個人名ではなくアルファベットで記している。	0	
		53	<b>利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている		0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	<b>日々のその人らしい暮らし【外部評価】</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れとして、午前・・計算・歌・紙芝居、午後・・リハビリ体操・手足運動等、最低限のスケジュールを取り入れ、Dの維持に努めているが、皆さんゆったりと過ごされている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	0	
		55	<b>身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	年数回、ご家族の方が行きつけの美容室にお連れされるが、他の方は、希望に応じカットしている。	0	
		56 外部評価 25	<b>食事を楽しむことのできる支援【外部評価】</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	委託業者からの食事で、盛り付け・食器片付けは一緒にして、スタッフ共に楽しみながら共にしている。	0	
		57	<b>本人の嗜好の支援</b> 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物などは、本人の嗜好に合わせて茶話会時等に飲まれている。手作りは毎回喜ばれている。お酒・煙草に関しては要求される方はいない。	0	おやつや居室持ち込みは、危険性と衛生面を考慮控えてもらっており、ご家族からの差し入れなどある場合、お預かりし希望時に渡すようにしている。居室での飲食は、常に見守り・声掛けしている。
		58	<b>気持ちよい排泄の支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表記録により確認。性状・量・時間等を記し、薬対応も細かく調整している。また、時間毎の声掛け・誘導を行う事でおむつの使用を減らし、気持ちよく排泄出来るようにしている。	0	夜間など、入居者に合ったおむつの種類・使用枚数など、スタッフ間で話し合い共有する事で、家族の負担を少しでも減らすように努めている。
		59 外部評価 26	<b>入浴を楽しむことができる支援【外部評価】</b> 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	スタッフが揃っている時間内ではあるが、曜日は自由にしている。しかし、入浴を拒否される方が大半で、タイミング等様々な工夫をしながら、入浴してもらおうと「気持ちよかった」と喜ばれる。	0	入浴介助者は、皮膚状態など観察し、異常等あれば看護師に報告し対応している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	<b>安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一週間毎のシーツ交換・毎朝、出来る方は一緒に換気・ベッドメイキングを行い、何時も気持ちよく過ごせるようにしている。昼食後、小一時間の午睡を取ってもらっている。	0	午睡時間殆どの方が居室で過ごされているが、午睡されている他居室に入り込み、話し込まれる方が一名居られるので、声掛けしたりしている。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	2	
		61 外部評価 27	<b>役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日、出来る範囲内で掃除してもらっている。歌・ゲーム等とても喜んでもらっている。実習生が来られた時に、得意な折り紙を、嬉しそうに教えたりされている。	0	
		62	<b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	数名の方が、小銭だが財布をご自分で持っておられる。買い物等同行する際、見守りながらご自分でやってもらっている。	0	
		63 外部評価 28	<b>日常的な外出支援【外部評価】</b> 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い時は、体調を見て本人の希望があれば、戸外に出掛けてもらっている。	0	
		64	<b>普段行けない場所への外出支援</b> 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	希望があれば家族に相談している。体調不良や天候不良で延期になっていた外食を、皆さんと共に実現し大変喜ばれた。	1	もっと家族と共に出かけられる機会を実現させてあげたい。
		65	<b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の希望があっても、耳も遠くなり、自ら話されないが、スタッフが代わって用件など伝えたり、伝言などあれば解り易く説明している。手紙を勧める事はしている。	1	計算問題の解答は書かれるが、手紙までは書こうとされず、少しずつ手紙を書く練習をして、年賀状など出した。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	<b>家族や馴染みの人の訪問支援</b> 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	定期的に、ご家族の訪問があり、入居者の居室に人数分の椅子を用意し、お茶・時間帯によってはお菓子をお持ちし、ゆっくり過ごして頂いている。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	0	
		67	<b>身体拘束をしないケアの実践</b> 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会でも取り上げ学習しており、しっかり取り組んでいる。	0		
		68 外部評価 29	<b>鍵をかけないケアの実践【外部評価】</b> 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	常に開錠している。	0	妄想のある利用者で、外出する際、居室ドアの開錠を強く希望される方がおられるが、鍵を見せたり、留守スタッフが常に監視している旨伝え、安心して出掛けて行かれる。	
		69	<b>利用者の安全確認</b> 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は、日中殆どフロアで入居者と過ごし、記録等は全体見渡せるスタッフルームで行い、常に見守り・声掛けをしている。夜間は時間毎の巡視と、トイレ覚醒時の対応など、敏速に出来る場所で仕事している。	0		
		70	<b>注意の必要な物品の保管・管理</b> 注意の必要な物品を 律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	用途に合わせ鍵など掛けず保管している。使用後は必ず元の場所に戻し、保管の方法など確認している。	0		
		71	<b>事故防止のための取り組み</b> 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	勉強会でも学習し、火災訓練も定期的実施している。特に転倒については、整理整頓と利用者さんの下肢筋力低下防止のため、毎日運動を続けている。事故防止に力を入れている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	<b>急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	当施設でも、消防署の協力で実施訓練を行った。この技能を維持させるためにも、1～2年毎位に再実施訓練をお願いしたい。	0	
		73 外部評価 30	<b>災害対策【外部評価】</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は定期的に行っている。地域の協力体制に関しては、運営推進会議において話題になり、お互い協力する事になっている。	0	
		74	<b>リスク対応に関する家族等との話し合い</b> 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	きちんと説明・対応策等を話しており、その後の結果については、面会時やお便り等で説明し、ご家族からの意見も聞いている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	<b>体調変化の早期発見と対応</b> 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックを毎日定時刻に行い、変化に気を付けると共に、様子観察をしっかり行い、異変時は看護師・医師への報告を速やかに行っている。	0	
		76	<b>服薬支援</b> 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬・お薬手帳は常に同じ場所にあり確認できる。誤薬防止のため、薬袋には入居者名・用法・日付を記し、投薬前には再確認するよう徹底している。新しく薬が開始される時は、看護師から、詳細を説明している。	0	
		77	<b>便秘の予防と対応</b> 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	なるべく自然排便であるために、乳製品を多く取り入れ、家事や運動を取り入れている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	<b>口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	眠前には義歯をお預かりし、数日毎に洗浄薬を使用し消毒している。お一人の方については、義歯除去困難だが、声掛けを行い支援している。	0	
		79 外部評価31	<b>栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表に必ず記録している。水分量については、必要な方のみチェックしている。いつでも水分を摂ってもらうよう、ペットボトルを個々に用意し手元に置いて水分補給してもらっている。	0	
		80	<b>感染症予防</b> 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	勉強会・毎日の朝礼で話題になり、手洗い・うがい	0	
		81	<b>食材の管理</b> 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている		0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8項目・外部評価 2項目	1	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5項目・外部評価 2項目	1	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	<b>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</b> 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	部署毎の花壇に、季節のお花や野菜など植えてあり、天気の良い日は利用者と散策して楽しんでいる。また、玄関や建物周囲も毎日清掃されている。	0	
		83 外部評価32	<b>居心地のよい共用空間づくり【外部評価】</b> 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	臭いに伴い、換気や明かりには一番気をつけている。季節のお花や観葉植物など置き楽しまれている。共同空間は、安全と清潔を保つため、あまり物を置かないようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	<b>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気のあった方同士で席を決めており、お一人の方は、テレビの前に一人用椅子を置き、一日新聞を読まれたりして過ごされている。	0		
		85 外部評価 33	<b>居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	お仏壇・家族の写真・手作り作品などご自分の好みに合わせ好きなように飾ってもらっている。	0		
		86	<b>換気・空調の配慮</b> 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	午前・午後の換気を行っている。夜間の温度調節は細めに温度調節を行い、体調管理に努めている。また、排泄後のチェック・排泄物の処理も工夫し、臭いの原因にならないようしている。	1	居室での放尿が習慣となっている方がおられるため、数個のゴミ箱を置いてみた所、ゴミ箱内のみ放尿されるようになった。細めに居室内チェックし処理を行い、臭いの原因とならないよう心がけている。	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	<b>身体機能を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ・お風呂・フロア内には手すりが設置されており、伝い歩き可能。見守り声掛けをして自立を心がけている。	0		
		88	<b>わかる力を活かした環境づくり</b> 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室入り口には、大きく名前を記したネームプレートを目の高さに掛けてあり、確認して居室に入られている。中には、ご自分の好みに合わせ暖簾を掛け、目印にされてる方もおられる。	0		
		89	<b>建物の外周りや空間の活用</b> 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	狭い空間であるため、スタッフがお世話をし季節のお花や・観葉植物など育てており、見て楽しまれている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目			取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)		該当番号	
サービスの成果に関する項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。